

- 会議名 令和3年度 第3回丹波市社会教育委員の会議
- 日時 令和4年3月3日(木) 午後7時～8時53分
- 場所 氷上住民センター 大会議室
- 出席者 社会教育委員：13名
関係部署：教育部（教育総務課、学校教育課、文化財課）
まちづくり部（市民活動課、文化・スポーツ課、
人権啓発センター）
- 内容
 - 1 開会
 - 2 あいさつ
 - 3 兵庫県社会教育委員協議会 表彰について
表彰を受けた委員が議長から表彰状を受け取られ、ご挨拶をいただいた
 - 4 協議事項
 - (1) 社会教育関連会議について各委員からご報告
 - ・丹波アートコンペティション実行委員会委員
芸術について分からないことが多いが、丹波アートコンペティションの展示物を見て、丹波市で様々な芸術に触れられる機会をつくっていくことが大切だと感じた。3月8日から植野記念美術館で入賞作品が展示されるので皆さんもぜひ足を運んでほしい。
 - ・丹波市文化ホール事業推進会議委員
主には、どんな芸術や舞台装置を提供することで子どもたちや地域の方が文化ホールに来てもらえるのかについて協議している。普段は音楽療法の活動を行っているが、この会議に参加することで幅広い芸術を知ることができた。
 - ・隣保館等運営委員会委員
隣保館では人権歴史講座、人権セミナー、料理教室、氷上文化センターでの相談会などを行っている。委員会では、教員から非常に興味深いお話をうかがったことがあり、改めてみなさんと一緒に学んでいきたいという気持ちになった。
 - ・まなびの里づくり協議会委員
生涯学習基本計画に基づき、学ぶ人を増やし、学びの力を広げ、丹波市を活性化させることを目標に協議を行っている。主には、行政が

行う施策等について検討している。

(2) 今後の丹波市の社会教育について

前回会議で、教育委員会が社会教育委員に求めることを知りたいという要望が社会教育委員からあったため、下記のとおり回答した。

【教育長】

地域と学校が連携・協働し、地域全体で子どもたちの成長を支えるため、どのような子どもを育てるのか、何を実現していくのかという目標やビジョンを学校と地域住民が共有し、一体となって子どもたちをはぐくむ「地域とともにある学校」実現に向け意見等をいただきたい。

そのために、

- ① 「地域とともにある学校づくり」推進フォーラムへの参加
- ② コミュニティ・スクール連絡会への参加
- ③ 学校運営協議会への参画
- ④ 地域から考える学びの未来会議への参加

等に積極的に参加・参画いただき、社会教育委員の会議体として、丹波市ならではの取組を提案いただきたい。

【教育総務課長】

社会教育委員の役割として法的には下記の3点が挙げられている。

- ① 社会教育に関する諸計画を立案する
- ② 教育委員会に意見を述べる
- ③ 必要な研究調査を行う

「丹波市の教育 実施計画」の社会教育分野について、計画策定後に委員さんからご意見をいただいている状況である。よって今後は策定段階で意見・提言をいただき、計画に反映させていきたい。

【質問・意見】

委員	「社会教育」「学校教育」という枠組みがあることで狭い範囲を指すように感じる。そういった概念を取っ払って考えた方がいい。 教育長の教育の最終目標は何ですか。
教育長	学び続けることだと思う。
委員	教育の最終目標は「人格を完成させること」と聞いたことがあり感銘を受けた。何をするかというのは手法に過ぎない。2年間など長期で取り組むテーマが必要だと感じる。
委員	障がい児にとっても生きやすい、共生できる場を広げる ことについて話し合っていくのもいいかなと思う。

委員	テーマを絞って2年間活動してみて、そのテーマを深堀したいとなったら、あと2年活動してみては。
委員	社会教育委員というのは任期があるもので、サークルではない。委員それぞれが各自活動をされているのであえてテーマを絞ってここで活動する必要はないのでは？
委員	各委員がそれぞれの活動で得た知識・経験を当会議に持ち寄り、活かすことで社会教育委員としてのモチベーションが高まるのではないかと前回までの会議で話し合われてきた経緯がある。
委員	福知山市などは社会教育委員として独自の活動を行われている。施策審議も大切な役割であるが、テーマがあることで社会教育委員として頑張れる。
委員	何をテーマとするかは教育委員会が提案してほしい。
委員	社会教育委員として担うべき役割については県でも議論されている。豊岡市は各分野で専門性のある協議会を設置していることを理由に社会教育委員が廃止された。
委員	それぞれで協議されたことを別の視点から俯瞰して見るのが社会教育委員だと思う。
委員	社会教育委員として学んだことを活かして活動している。今後も社会教育委員として特別に何かする必要はないのでは。
委員	各委員さんの意見から、丹波や人を大切に思っていることが感じられた。社会教育委員としての役割が大きいいため名前が重く感じる。
教育長	市の施策として「帰ってこいよと言えるまち」をめざしている。そのためにも「地域とともにある学校」を実現すべく教育委員会として取り組んでいる。コミュニティ・スクール連絡会などの会議に参加していただき、社会教育委員として提言をいただければありがたい。
まちづくり部長	家庭教育、青少年教育、生涯教育など様々な枠組みがある。例えば、まず家庭教育の分野にしぼり、市の施策が

機能しているのか、どうすれば機能するのか、などの意見をいただければ非常に有意義であると思う。

委員 丹波市の教育の P10 で記載されている「地域から考える学びの未来会議」と連携し、それぞれが行っている活動をより広く共有する場をつくり、多くの人に知ってもらいたいと思う。

委員 教育委員会主体でテーマを決めるのではなく、現場の声を知る委員がテーマを決める必要があるのでは。

委員 社会教育委員とは未だによくわからない。テーマを決め、やった甲斐があるものにしたい。

教育総務課長 テーマに基づき 1 年ないし 2 年間、協議等を行い、会議体として残るものがあり、市の施策に反映されればいい。学校運営協議会が全校に配置されて日が浅い。その活動をどう深めていくのが課題。テーマをこちらから提案するのなら、地域とともにある学校づくりを社会教育委員に考えてほしい。

委員 家庭教育が果たす役割は非常に大きいため、家庭教育をテーマにしてもいいのでは。

委員 小さなテーマにするのではなく、分野を横断するようなテーマを設定してもいいのでは。

委員 テーマをまとめるのにも時間がかかる。教育委員会が決めることで委員の負担軽減につながる。

委員 テーマを決めて会議を進めていく方法について異議がある方はいらっしゃいますか。

(異議なし)

では、テーマを何か定めて会議を進めていきます。テーマについては来年度検討します。

5 報告事項

教育委員会事務局組織の改編について教育総務課長より報告

6 その他

- ・フリースクールに関するチラシについてのご案内
- ・市民活動課長より「青垣地域の子育てと教育の魅力化 連続講座」についてのご案内

7 閉会